

**お客様 各位**

**東日本電子計測株式会社**  
<http://www.hdknet.co.jp>

**汎用物理シミュレーションソフト  
「マルチフィジックスシミュレーション」 in 仙台 開催のご案内**

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
 さて、このたび弊社では計測エンジニアリングシステム(株)様の協力により、マルチフィジックスシミュレーション(CAE)ソフトウェア「COMSOL Multiphysics」のセミナーを開催いたします。ものづくりの設計、開発段階において、仮想モデルによるシミュレーションは開発期間の短縮とコスト削減を実現した上で品質向上を図れるため、重要性は非常に高くなっております。是非、受講申し込みをお待ちしております。  
 弊社担当までメールでご連絡いただくか、あるいは下記申込書でFAXにてお申し込みください。なお、ご不明な点がございましたらお問い合わせください。宜しくお願い致します。

敬具

## 記

日 程 : 2017年7月14日(金) 13:00-17:00 (受付 12:30 から)

「COMSOL Multiphysics」入門ハンズオンセミナー(実機操作)

セミナー内容 : COMSOL Multiphysics ハンズオンセミナー (質疑含む)

: COMSOL 入門コース

: COMSOL ジオメトリ・メッシュ・ポスト処理

定 員 : 10名 (定員になり次第締め切りとさせていただきます。)

会 場 : 東日本電子計測(株) 3F会議室 (仙台市泉区南光台4丁目32-19)

交 通 : 仙台市地下鉄 ・ 旭ヶ丘駅 バス5分(5番のり場 南光台4丁目下車) / 徒歩15分  
 ・ 黒松駅 徒歩10分

※お車の場合は、弊社社屋前の駐車場へお停め下さい。

受 講 料 : 無 料

協 賛 : 計測エンジニアリングシステム株式会社 様

## 「マルチフィジックスシミュレーション」 in 仙台 セミナー お申し込み書

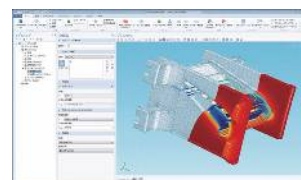
ご参加いただけるご担当者様をご連絡ください。なお、ご記入いただくお客様の個人情報は、受講のご案内や弊社からのご案内を行うために使用させていただきます。

貴社名	
ご部署名	
お名前	
Eメールアドレス	
TEL/FAX	/
交通手段	<input type="checkbox"/> お車      ・ <input type="checkbox"/> 公共交通機関

## セミナー説明

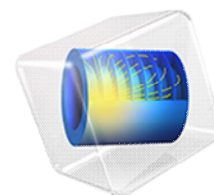
13:00-17:00	「COMSOL Multiphysics」入門 ハンズオンセミナー (実機操作)	「入門コース」+「ジオメトリ、メッシュ、ポスト処理」 (これから COMSOL を操作される方向け) に近い形の操作実習を行い、解析手順を学んでいただけます。  同事業者様複数名で1台をご利用いただく場合がございますのでご了承願います。	定員 10名
-------------	--	--	-----------

## ◎COMSOL Multiphysics について



# 汎用物理シミュレーションソフト

# COMSOL MULTIPHYSICS®



COMSOL Multiphysics は、スウェーデン・COMSOL AB により開発された、マルチフィジックス解析を前提として設計されている有限要素法 (FEM) ベースの汎用物理シミュレーションソフトウェアです。1998 年より、米国・COMSOL Inc. を拠点として全世界へ販売されています。現在発売中の最新バージョンは「5.3 (5.3.0.248)」です。

最大の特徴は「マルチフィジックス (連成) 解析に対する柔軟性とソフトウェアのオープン性」。マルチフィジックス機能はあらゆる物理現象の組み合わせに対応 (3 種類以上の物理現象を無制限かつ自由に組み合わせで連成解析) できるので、実工学現象に即した高精度モデリング/シミュレーションが可能であり、業界随一の高機能性を誇っております。

伝熱・流体・構造・電磁場・音響・物質輸送・移動メッシュのような基本物理、そして一般偏微分方程式系のためのシミュレーション機能を搭載しています。コアソルバが一般的な偏微分方程式系に対応しているため、分野を問わず物理現象全般に対しシミュレーションが実行可能です。

モデル作成/CAD データ読み込み～フィジックス選択～材料設定～初期条件/境界条件設定～メッシュ作成～ソルバ処理～ポスト処理 (グラフや 3D 動画生成を含む) まで一貫して 1 つのソフトウェアの GUI 上で処理できるため、今までのように対象とする物理現象によっていくつもモデルを用意したり、次の処理のためにパラメータを加工したり、ソフト間でデータを受け渡したりする必要はありません。

非常に高いオープン性も研究者、開発者の皆様にご評価いただいております。通常はブラックボックス化されているソフトウェア内部の設定の編集を可能にしています。これによって GUI 上でエンドユーザが手軽に機能拡張、条件設定、オリジナル材料の物性値の設定とライブラリ化、さらには物理モデルや方程式もスクリプトレベルでカスタマイズすることができます。一般的なソフトウェアではサポートされていない物理現象も、PDE (偏微分方程式) モードを使用することで物理モデリングが自由自在にでき、また定義済みの物理現象とも自由に連成してシミュレーションを行うことができます。これにより、カスタマイズを外部に依存せずお客様ご自身で行う事が可能になっています。

製品説明は URL: <http://www.kesco.co.jp/comsol/>